

集団で協力する学習場面における 相互の関わり合いに関する研究 －音楽学習を例として－

上越教育大学 学習臨床コース
学習過程臨床分野4年 左古雄一郎

- 1 . 研究の背景と目的
- 2 . 調査
- 3 . 調査
- 4 . 結論
- 5 . 今後の課題

1. 研究の背景と目的 (音楽科授業の実態)

先生様

この部分の歌い方は、もっと大きな声だといいね。口を大きく開いて歌いましょう！

このリコーダーの音は、指が難しいから、指の練習をいっぱいしましょう！

子ども

そのくらい自分で考えられるよ
(怒)

1. 研究の背景と目的 (教師の指導観)

- ・子どもたち全員に音楽の楽しさ、面白さを伝えたい。
- ・それを伝えるためには、経験豊富な教師が教えることが一番最適な方法だ。

篠原(1995)

「音楽実技を中心とした授業では、1時間の4割近く教師が発言しており、**教師の分かりやすく、適切な『指示』が必要である。**」

教師が指導することは重要

1. 研究の背景と目的 (子どもの姿)

・本当に教師が指導しなければ、子どもは
何もできないの？

山本(1973)

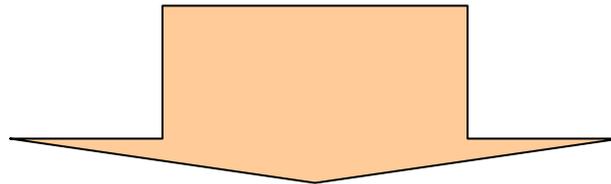
「子ども相互の指導のもつ強力さは、**教師一人ひとりとは比較にならない**」

森田(1993)

「音楽科において、学習意欲や興味・関心を誘発する刺激をお互いに受けながら、**自分の表現を見つめなおすことができる**」

子どもは有能な存在

教師の指導と子どもの学びとの
関係性には触れていない



教師の指導と子どもの学びの
関係性について明らかにする。

< 対象・時期 >

- ・新潟県内公立中学校1年生1クラス(28人)
- ・2003年10月～11月(6時間)

< 調査目的 >

教師の指導前後における子ども同士の学習の特徴を明らかにする。

< 授業内容・分析方法 >

- ・合唱コンクールに向けた合唱練習
- ・ICレコーダーによる会話記録と、VTRによる映像記録

発声練習

教師のピアノ伴奏に合わせて声だし。

パート練習

ソプラノ、アルト、男声の3パートに分かれての練習。

全体練習

全パート合同で合わせる練習。

教師の指導を受けるパートと子ども同士で練習を進めるパートの2つに分かれる。

	ソプラノ	アルト	男声
10月3日	子ども同士	教師指導	子ども同士
10月10日	子ども同士	子ども同士	教師指導
10月14日	教師指導	子ども同士	子ども同士
10月17日	子ども同士	教師指導	子ども同士
10月21日	子ども同士	子ども同士	教師指導
11月7日	子ども同士	子ども同士	教師指導

教師指導における教師の発話に注目

指示・進行

練習を教師の判断で進めていく発話や練習の指示や歌唱の指導に関する発話。

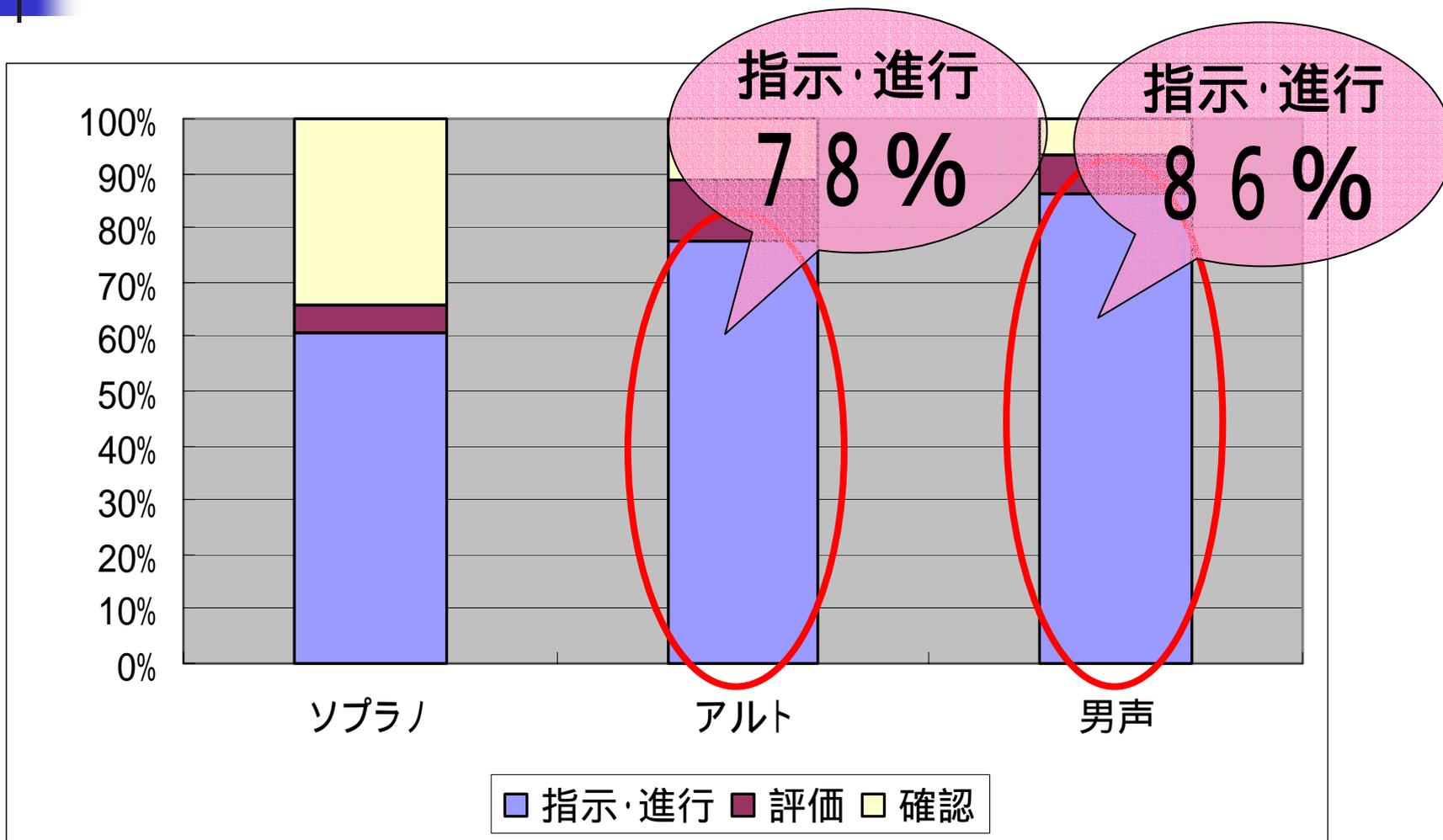
評価

子どもたちに対して、よかった点を評価する発話。

確認

どういうふうに練習したいのかの選択を子どもたちに任せる発話。

2. 調査 (教師の発話のパート比較)



ソプラノに比べ、アルトと男声の指導において、「指示・進行」の割合が高い。

「指示・進行」が多い指導

アルトに対する指導場面

「ワンツーさんはい。」

(実際に歌う)

「もういっかいじゃーいくよ。」

「ワンツーさんはい。」

(実際に歌う)

「大丈夫？」

「もう一回。」

「ワンツーさんはい。」

(実際に歌う)

教師主導の練習

常に、教師が練習を進めており、子どもたちが反応を返す機会が与えられない。

教師の指導を受けるパートと子ども同士で練習を進めるパートの2つに分かれる。

	ソプラノ	アルト	男声
10月3日	子ども同士	教師指導	子ども同士
10月10日	子ども同士	子ども同士	教師指導
10月14日	教師指導	子ども同士	子ども同士
10月17日	子ども同士	教師指導	子ども同士
10月21日	子ども同士	子ども同士	教師指導
11月7日	子ども同士	子ども同士	教師指導

指導前後の、子ども同士の練習における発話に注目

進行

グループのメンバーに対して尋ねたり提案したりすることで、練習を進行しようとする発話。

課題解決

つまづきや、改善したい部分を解決しようとする発話。

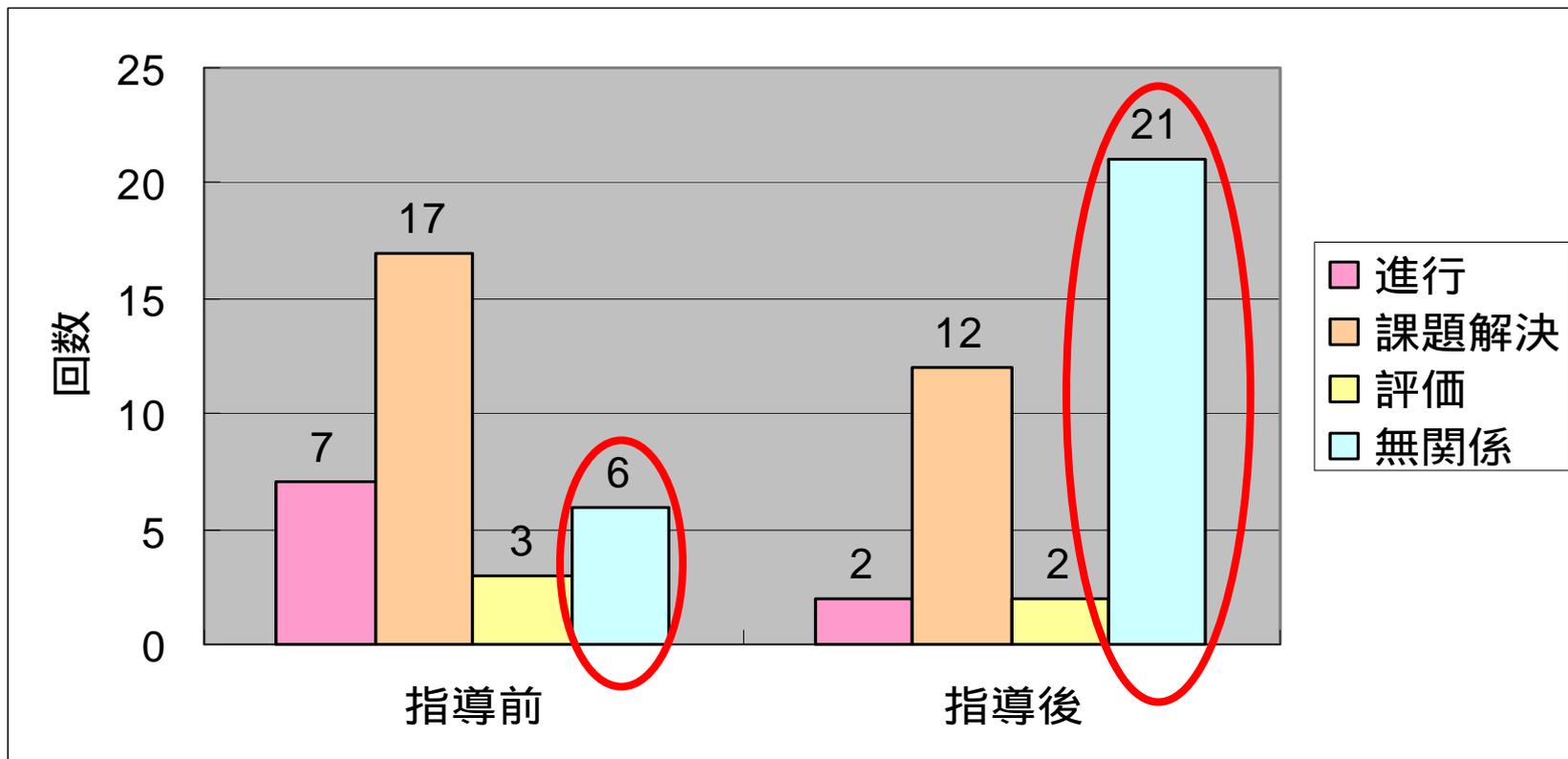
評価

自分自身、あるいはグループに対して評価を行っている発話。

無関係

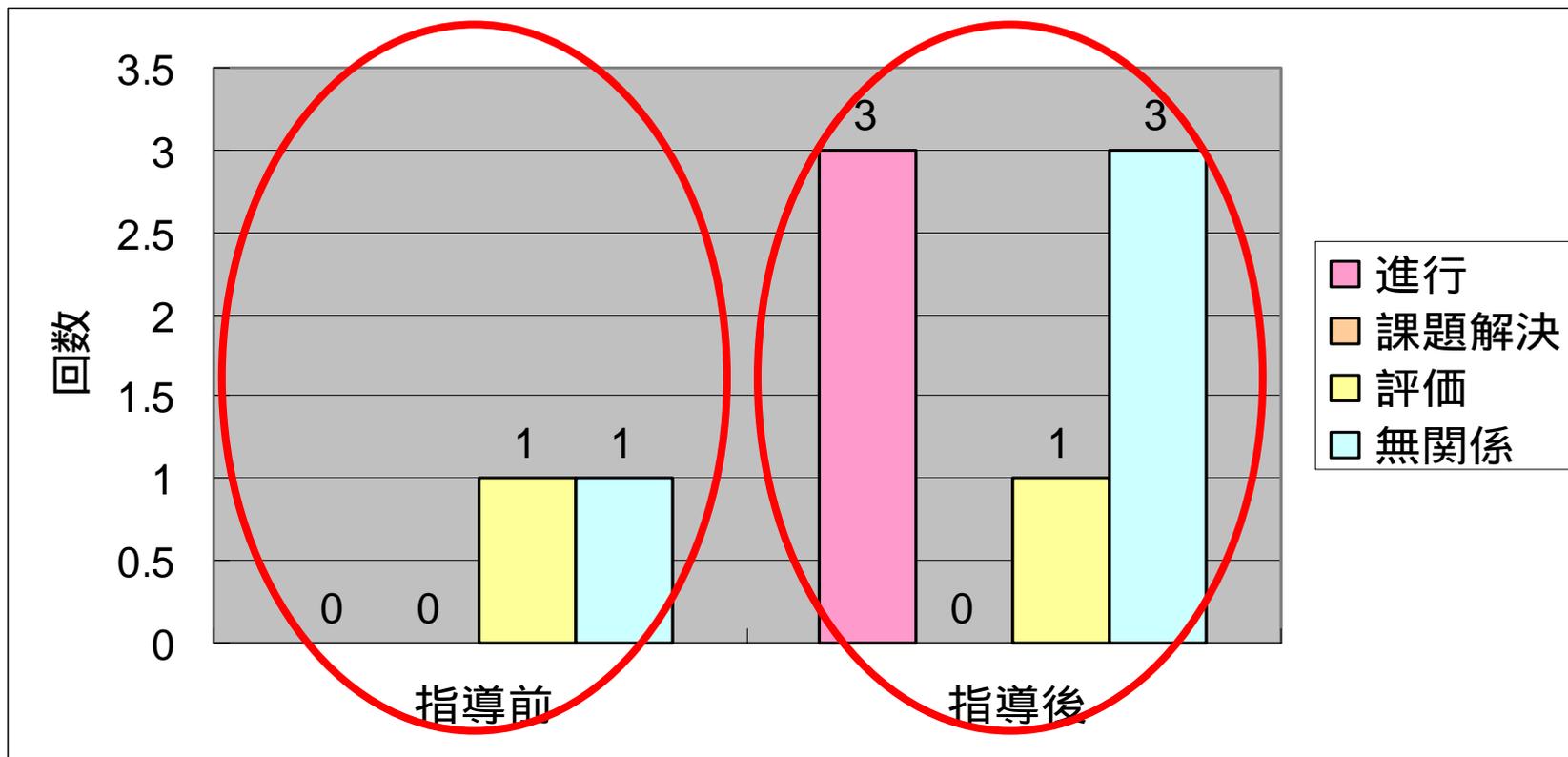
課題には関係のない話。

アルトの発話について



教師の指導後に課題からはずれることが多くなった。

男声の発話について



教師の指導の前後とも練習は不活発なままだった。

指導前

B「よいねー。」

A「どうですか？」

C「ふつう。だけど、なんか1番と2番間違えた人が約1名、あ、約2名。」

C「1番と2番間違えた人？」

活発な練習

教師の指導

指導後

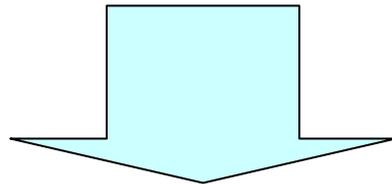
B「あ、カメラ、カメラだ。」

D「カメラだったよ。」

A「あったんだ。」

課題から外れたり
不活発な練習になったり...

「指示・進行」が多い教師主導の授業においては、子ども同士の学習が不活発となる



教師主導ではない授業において子どもたちはどのように学習しているのか

< 対象・時期 >

- ・新潟県内公立小学校4年生1クラス(38人)
- ・2002年12月(2時間)

< 調査目的 >

教師主導ではない授業における子どもたちの学習の特徴を明らかにする。

< 授業内容・分析方法 >

- ・グループ発表に向けたリコーダーの練習
- ・カセットテープレコーダーによる会話記録と、VTRによる映像記録

一斉練習

教師の手拍子に合わせて、全員で課題の曲を演奏する

グループ練習

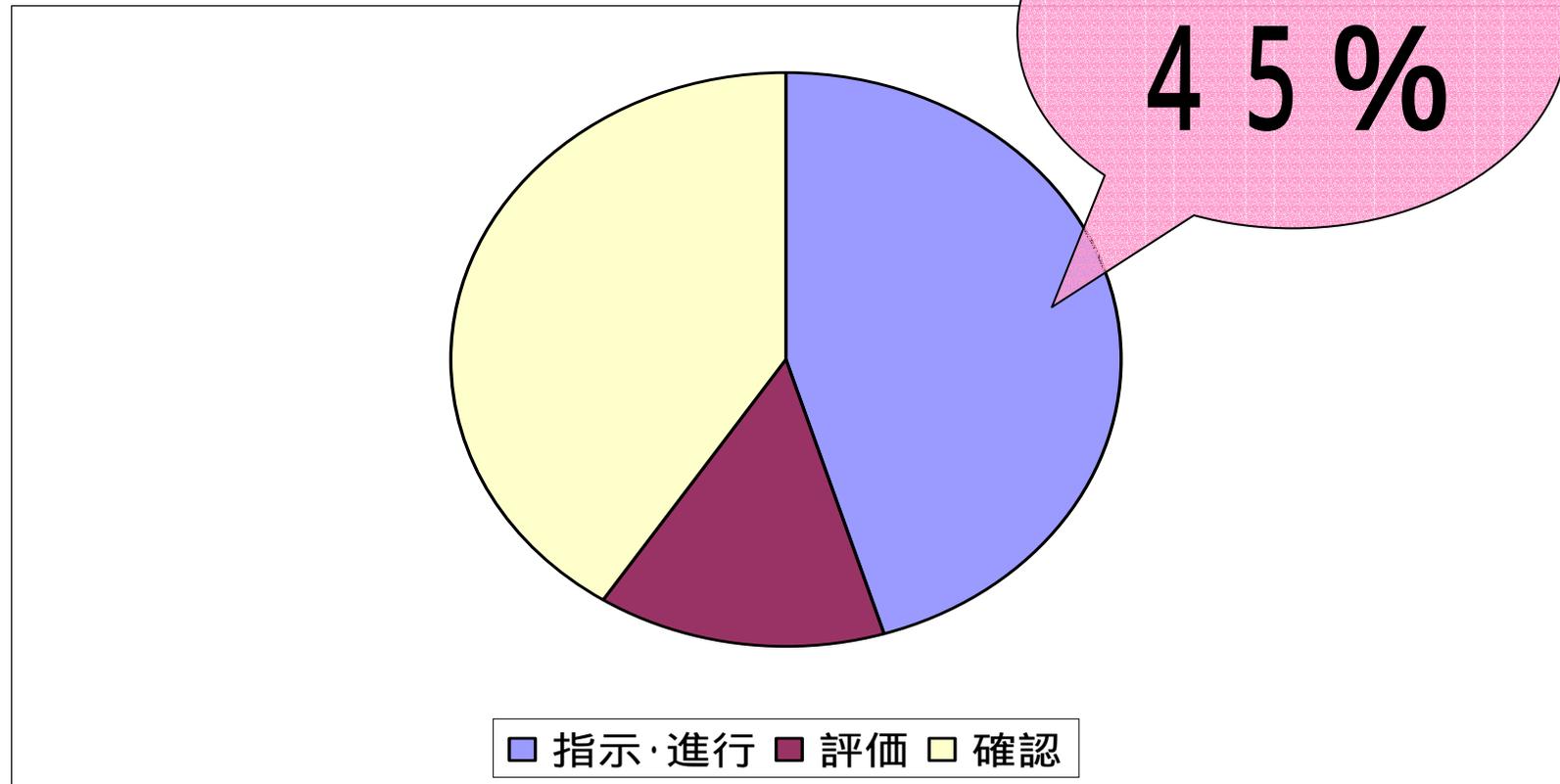
9つのグループに分かれて、グループごとに練習をする。

一斉練習

グループ練習をもとに、もう一度全員で課題の曲を演奏する。

3. 調査 (グループ練習時の教師の特徴)

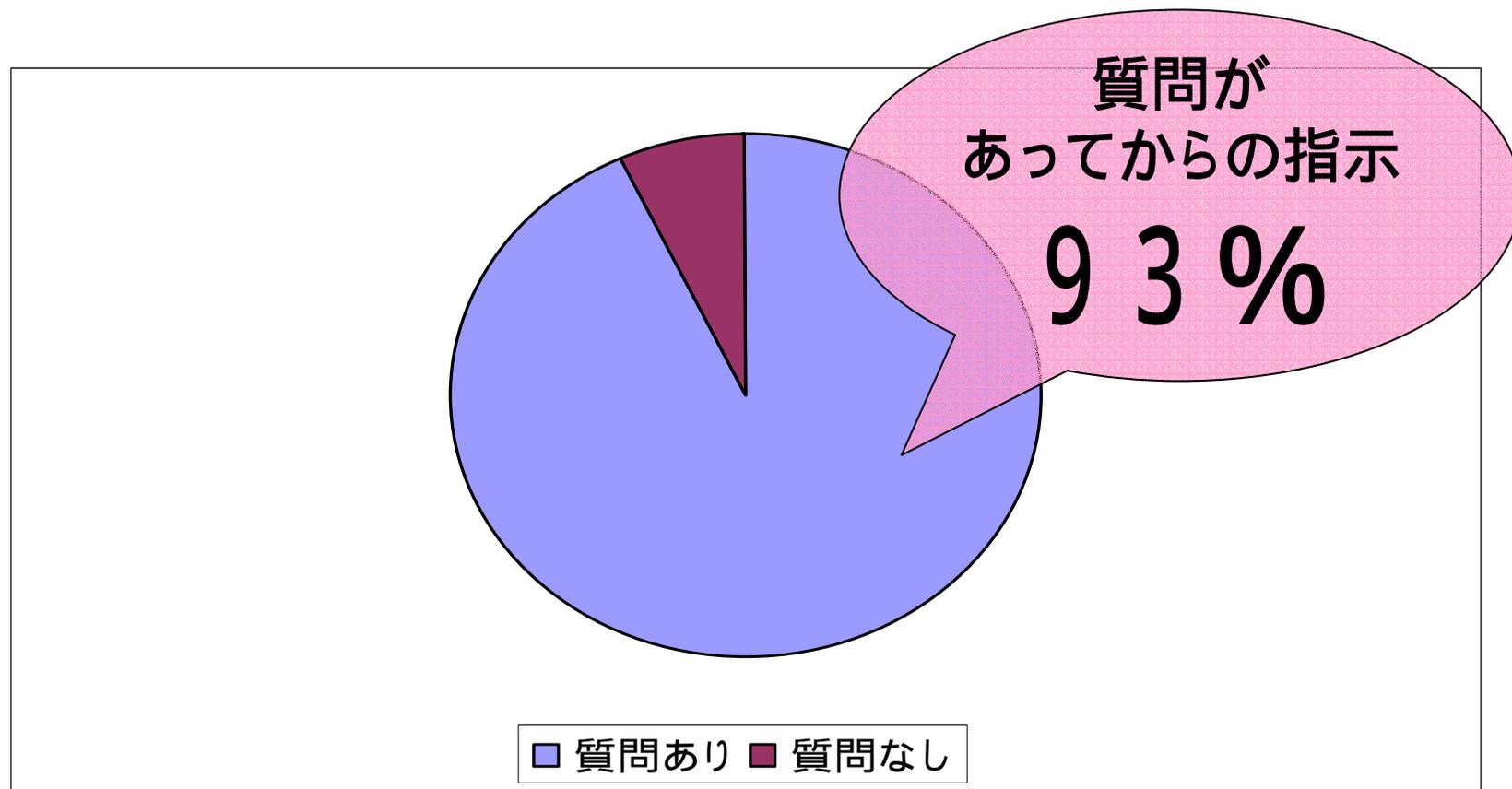
「指示・進行」に割合が少ない。



授業のはじめに子ども同士の学習を促す。

「まず最初ためしに一回、自分のパートで全員一斉に吹いてみましょう。で、その後、グループごとに分かれて、あわせる練習。で、その時にまだできない人がいたら、できる人、上手に教えてあげてください。」

指示をするのは子どもの質問があってからである。



「指示」の発話の特徴

自分のグループに近づいてきた教師に子どもが声をかける場面

C「先生！音がでないよ。」

T「え？」

C「音がなんかでない。」

T「音がでない？」

T「1番2番どっち？」

C「2番」

T「ちょっとミの音だして。もっとよわーく。」

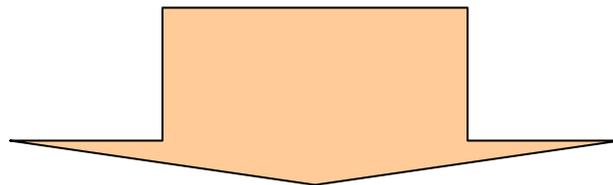
T「ほんと隙間あいてるとでないから。」

C「ね、ファの音は？ファの音がでない。」

T「これ(指)あげると高いファになるから。ここは全部ふさぐ。」

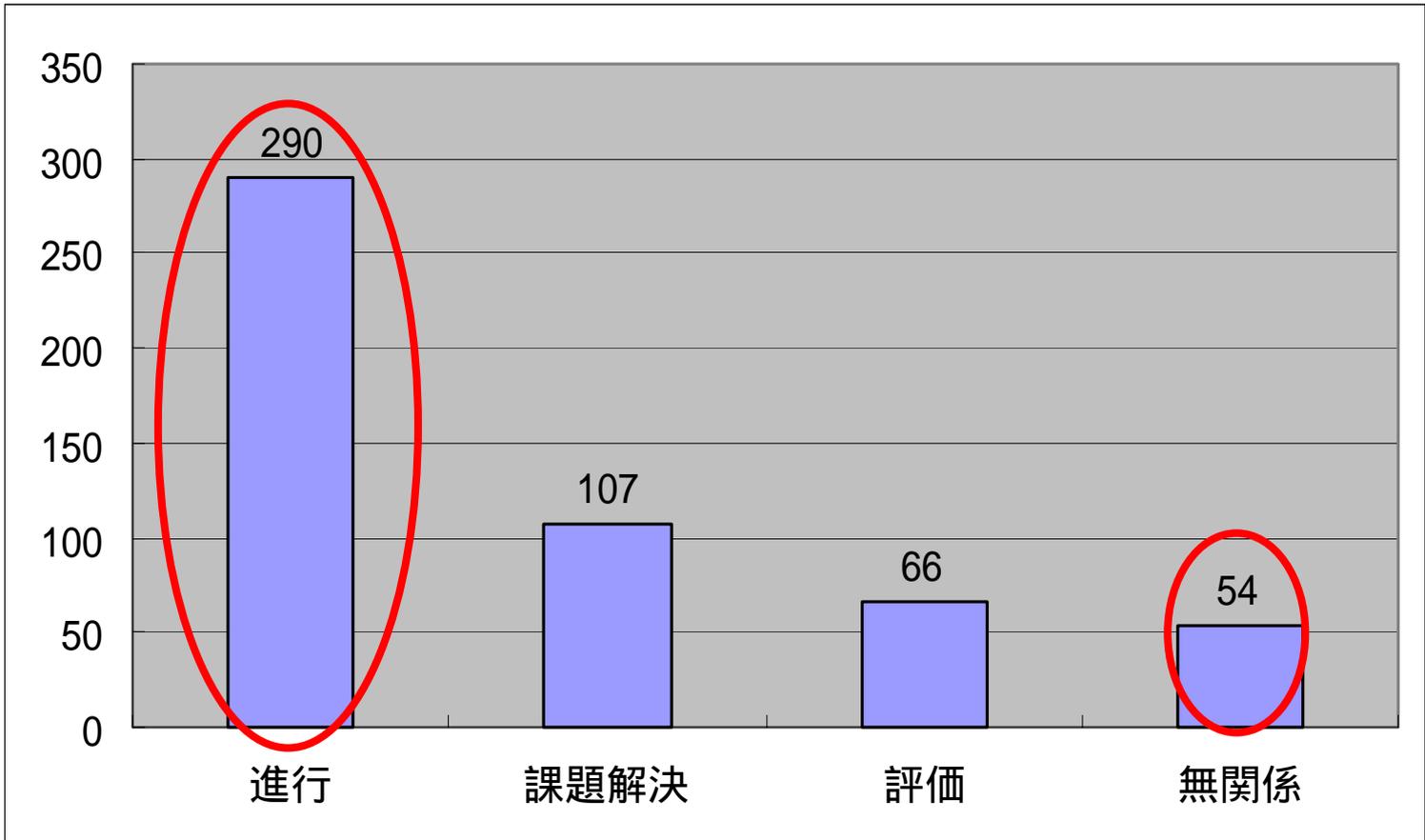
子どもの質問に対して指示をしている。

教師はできるだけ子どもたちの
自主性に任せた関わり方をしている。



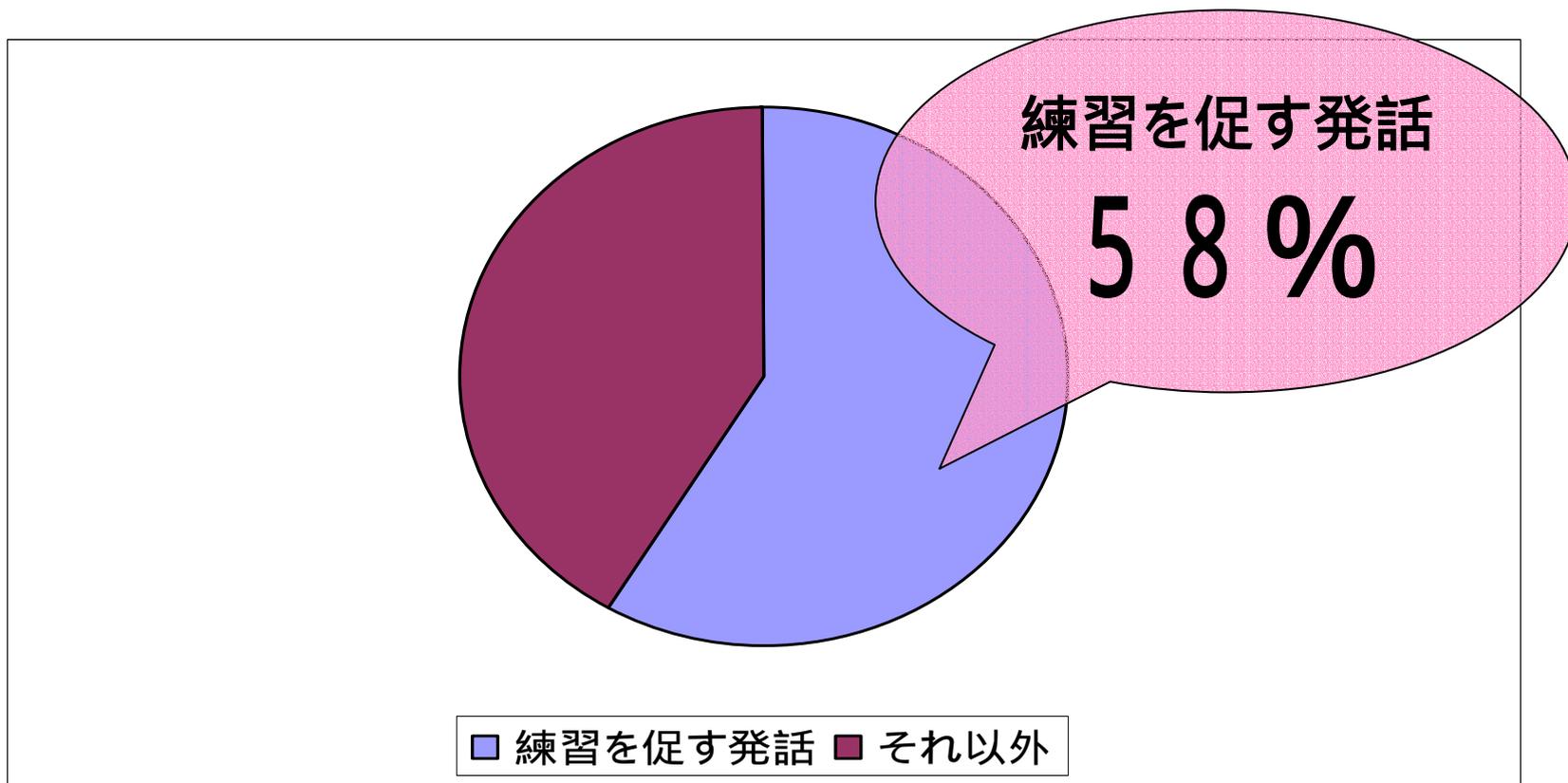
子ども同士でどのように
学習をしているのかを子どもの発話から分析

3. 調査 (子どもの発話の授業比較)



「進行」の発話の割合が多く、「無関係」の発話が少ない。

進行の発話の中の練習を促す発話



「進行」の発話の半数以上が練習を促す発話である。

「進行」の発話の特徴

パート練習が始まった直後の練習場面

A 「みんなでやろうよ。一回、一回だけ」

B 「だって…(聴き取れず)…ない。」

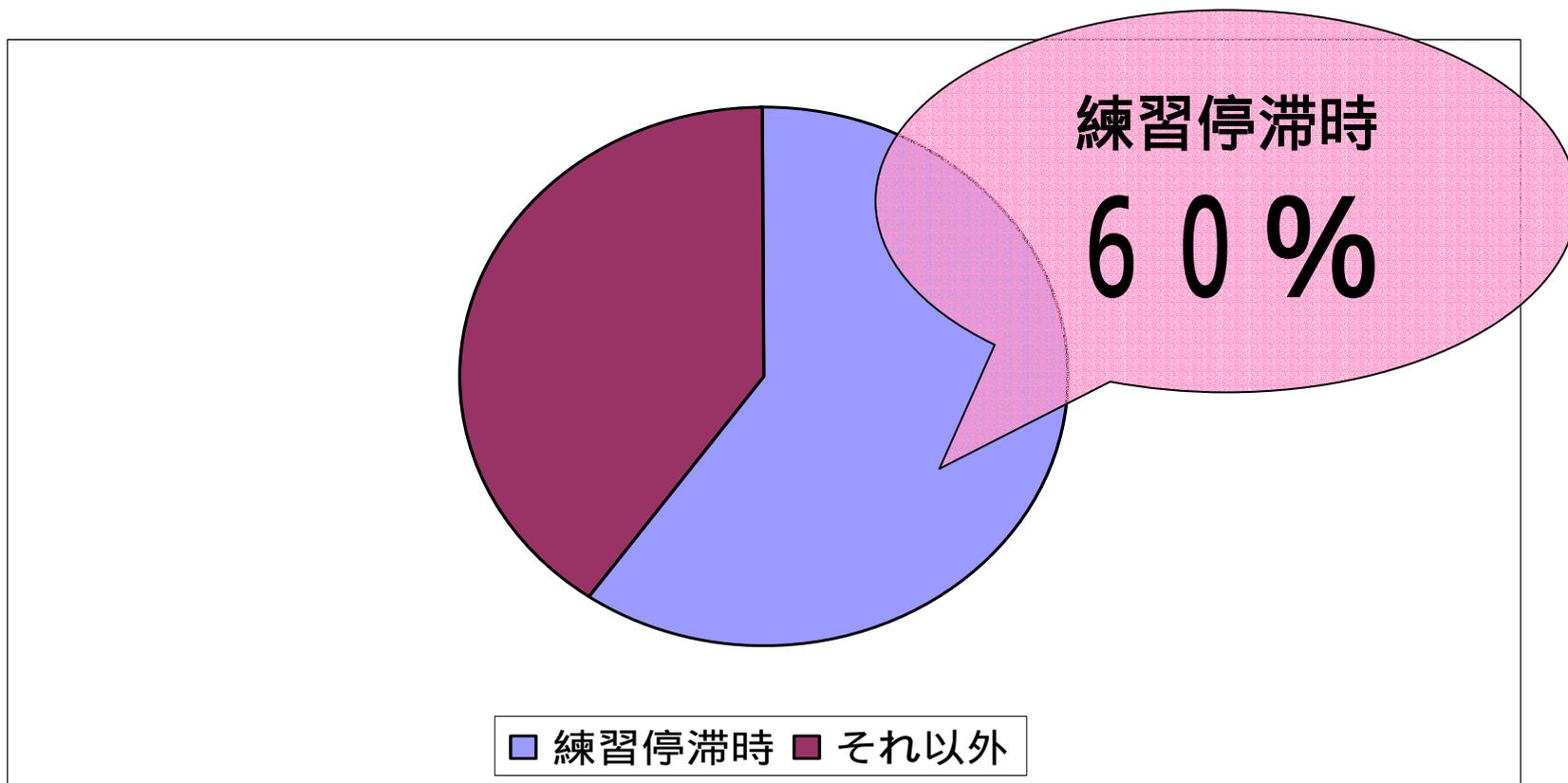
C 「下の(リコーダーの)穴がでかすぎる！」

A 「早くやろうよ！」

A 「早くやろうよ！」

教師が進行しなくても、子どもだけで進行している。

練習を促す発話が起こるとき



練習を促す発話の半数以上は練習停滞時に起こる。

練習を促す発話の事例

グループでの練習がしばらく停滞している場面

A「ねー、早くさーもっかいやってみようよー。おい、おいっ、おーい！おーい！」

A「ねー！」

A「ねー早く！おい！」

B「なに？」

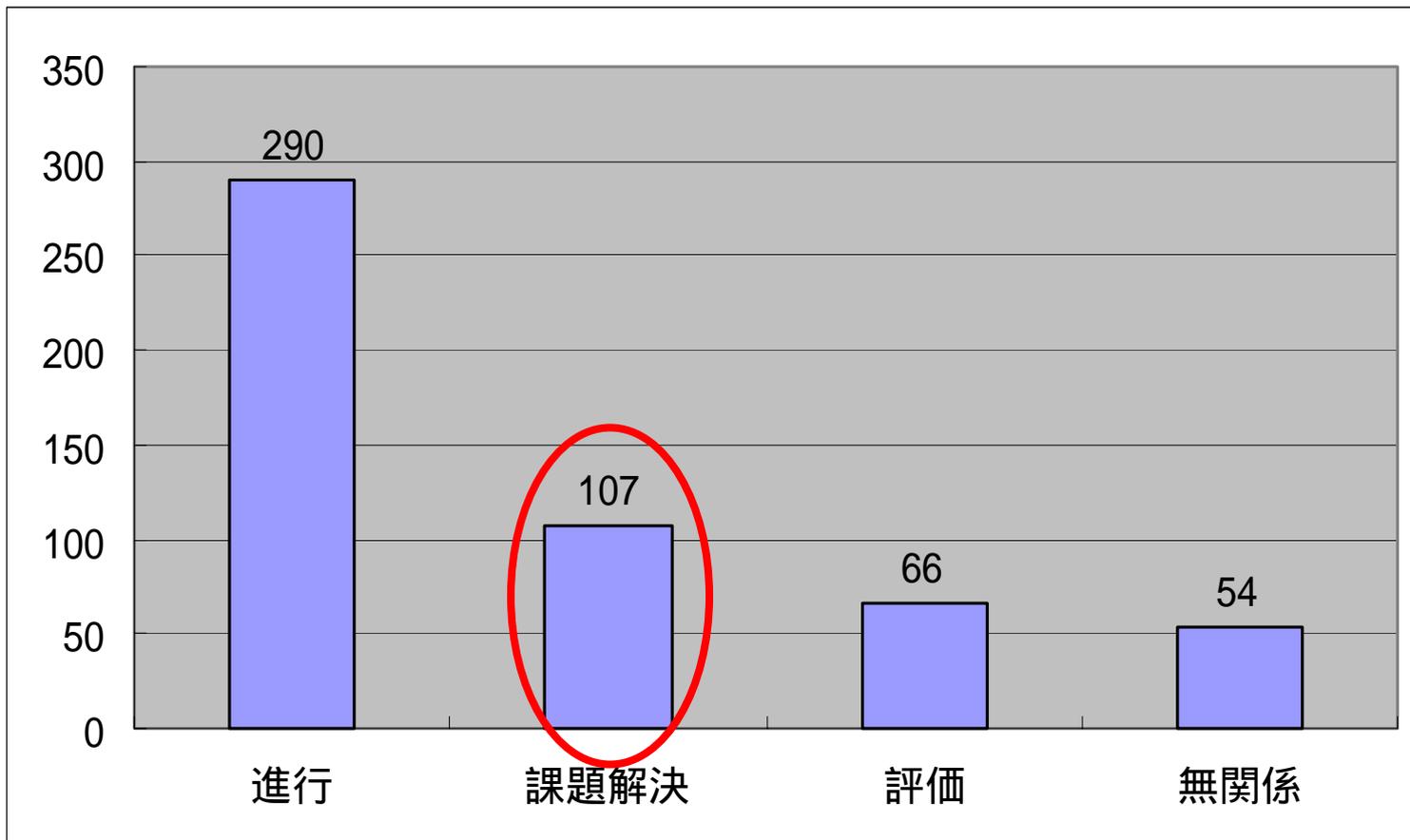
A「もっかいやってみようよ。」

B「じゃあ、もっかい！」

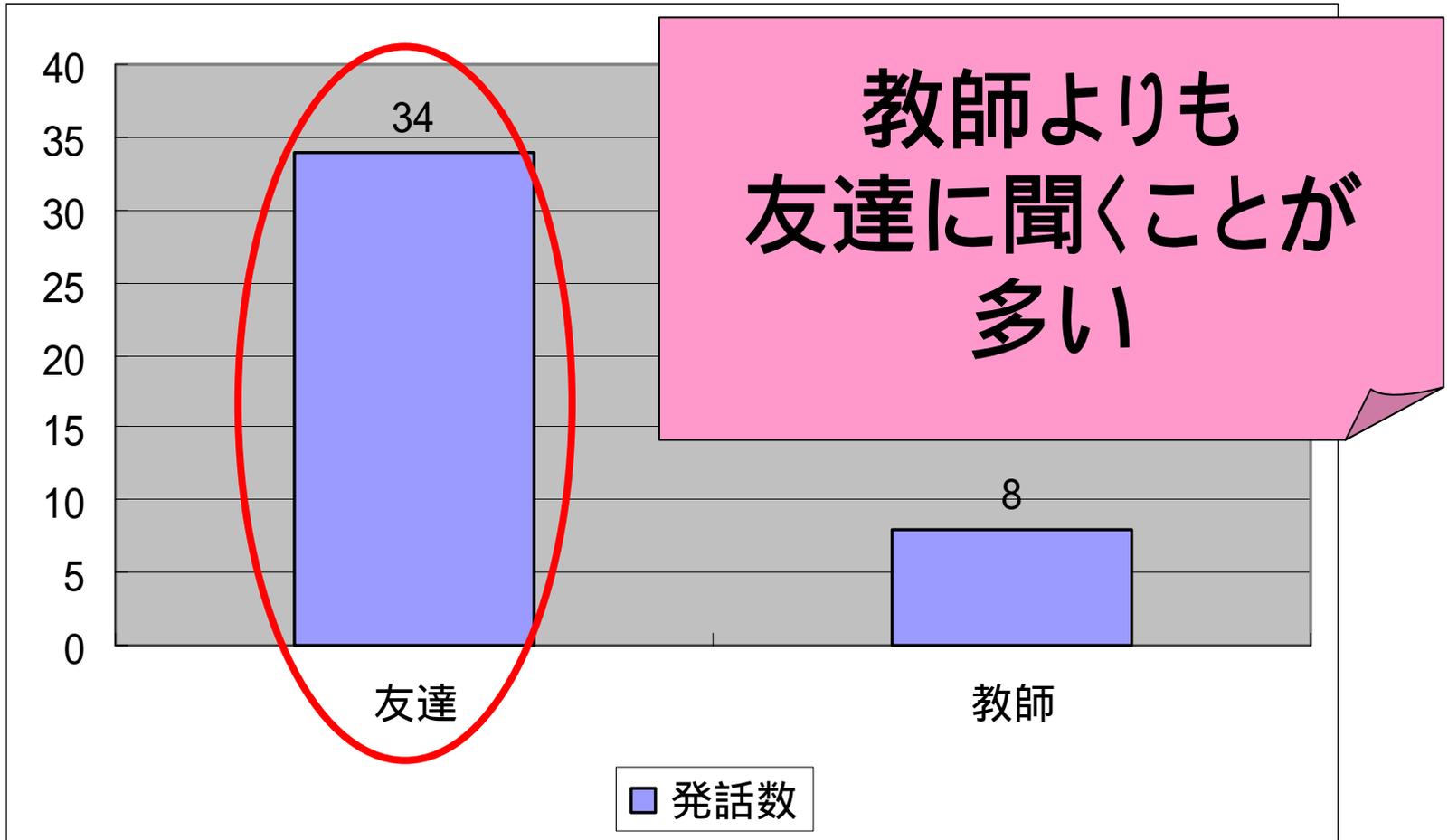
練習停滞時での練習を促す発話によって、練習に戻ることができた。

**教師が進行しなくても、子どもたちは
自主的に練習を進行していくことができる。**

3. 調査 (子どもの発話の授業比較)



つまずいた時に質問する相手



子ども同士の課題解決

AがBに対して、指の押さえ方を教えている場面

A「(指)使うよー、一回だけ。」

B「なんで？とどかないんだよー。」

A「こうだよ、こう。」

B「いいんだよねー？ここ……」

A「だから、ここ使わないから……」

B「ここ使わないの？」

C「うなずいてどうするんだよ！？」

A「低いのはここ、高いのはここ」

A「だから、これ高いのだから、これなんだよ。」

B「了解。あーはーはー。吹けた吹けた。」

子ども同士で学び合いつまずきを解決する。

教師の手を借りなくても
子ども同士でつまづきを
解決することができる

**教師の「指示・進行」がなくても
子どもたちは自発的に
学ぶことができる。**

今回の調査では、教師の関わり方の違いによる、子どもの学びの姿の違いを明らかにすることができたが、それは一時的なものであった。今後は継続的な学びの姿に注目していく必要がある。